

令和3年度大阪府立富田林支援学校 第二回学校運営協議会（会議録）

日時 令和3年11月22日（月）
出席者 松久 眞美（桃山学院教育大学人間教育学部 教授）
真田 政捻（こんごう福祉センターすぎのき寮長兼しいのき寮長）
神崎 尚美（富田林支援学校PTA会長）
入江 真也（南河内南障害者就業・生活支援センター長）
澤田 章（富田林市立東条小学校長）
成澤 佐知子（社会福祉法人 四天王寺太子学園施設長）
岡本校長 和田准校長 大巻教頭 榮教頭 土田事務長 増田首席
関田首席 下井首席 油井指導教諭（富田林支援学校）

次 第

（1）開会・学校長挨拶（岡本校長）

（2）授業見学

（3）出席者紹介

（4）協議

① 授業改善「ICT機器を活用した主体的・対話的で深い学びの視点での授業づくり」

- ・GIGAスクール構想のiPadは、学校での使用から始める予定。オンラインで使用するにはご家庭や施設的环境が整っている必要がある。
- ・対話的な部分で、言葉でのコミュニケーションが難しい児童生徒でも、文字でコミュニケーションができる児童生徒もいるので、実情に合わせて使っていく。
- ・ICTの良い部分もあるが、文字を書くことも大切だと思う。ひらがなを早い段階で習得できればありがたい。

② 防災体制づくり

- ・11月12日（金）に教職員対象、11月19日（金）に児童生徒も含めて毛細訓練を行った。教職員がどのように行動しなければならないのかが次年度以降の課題。
- ・PTA役員も防災訓練を見学した。

③ 意見交換

- ・ICTについては、働く場面で使えると思う。支援員が使い方を習得して、仕事の順序とかを提示できるとわかりやすい。
- ・学校で行っている活動を働く場面に橋渡しをしていければ良いと思う。
- ・防災訓練については、防災マニュアルを日々きちんと確認しておくことが必要。職員の意識づけが大切。
- ・ICTだけでは補えないことがある。タブレットを渡すだけではダメ。一人で操作を行うことが難しい子どもとの差が出来てくるのが懸念される。
- ・防災学習については、自閉症等の児童生徒は刺激を減らすことが大切、訓練の音やガラスが割れる音の刺激が強い。訓練後のフォローが大切。

（5）准校長挨拶